

# 日本デイケア研究会

## NEWS No. 1

日本デイケア研究会広報委員会  
1997年3月25日 発行

日本デイケア研究会事務局  
〒206 東京都多摩市中沢2-1-3  
都立多摩総合精神保健福祉センター  
TEL: 0423-76-1111  
FAX: 0423-76-6885

### 日本デイケア研究会会員各位

### 第1回大会実行委員長挨拶

加藤 正明

小林 暉佳

寒気厳しき折から、ますますご健勝の事と存じます。

このたび、第2回日本デイケア研究会を千葉大学看護学部斎藤和子教授を会長に、来る平成9年9月6日に、日本コンベンションセンター国際会議場（幕張メッセ）で開催することになりました。

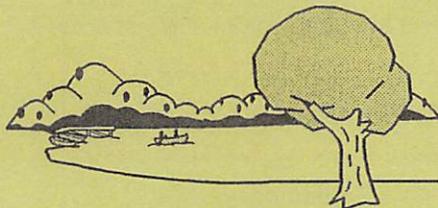
大会テーマは「21世紀のデイケアをめざして」とし、「精神科デイケアのプログラム」「老人デイケア・サービスの課題と展望」などに関し、特別講演（聖マリアンナ医科大学、長谷川和夫学長）と、シンポジウムを開催し、これらに関連する一般演題を募集しますので、多数の会員、非会員のご参加を期待しております。

本研究会は生まれてまだ日も浅いのですが、定期大会開催の外、各種の委員会を設けて積極的な活動を展開することになっております。委員会としては、編集委員会（宮内委員長）、広報委員会（窪田委員長）、渉外委員会（弘末委員長）、研修委員会（松永委員長）の4委員会を設け、多くの会員のご援助を期待しております。

なお、第1回研究会には520名の参加者があったのですが、研究会員数はまだ少なく、財政的にもまだ不十分であり、もっと多くの会員が本研究会を支えてくださることを期待しております。

地域医療・福祉の進展とともに、精神科デイケア、老人デイケア・サービス、痴呆老人デイケア、さらに精神障害者作業所などの要望は、ますます増大しております。これらの事業に参加される医師、看護婦、保健婦、ソーシャルワーカー、作業療法士、臨床心理士、介護士などの方々の勉強の場として、本研究会がお役に立つことを期待しております。

（日本デイケア研究会会長／東京医科大学名誉教授）



第1回日本デイケア研究会が1996年9月7日に東京医大で開催された。加藤会長の特別講演に始まる大会は、その後の総会議事において、当研究会の設立経過、設立趣意書、会則案及び役員案についていずれも参加者の賛同を得ることができました。当日の参加者は500名以上となり、総会会場であるA会場に入りきれない人達のために、B、C会場においてモニター中継をしなければならぬ程でありました。一昨年9月9日の「日本デイケア学会（仮称）設立準備大会」では学会設立の合意は得られませんでした。しかし、当日の総会議事においては、前年の厳しい討論を踏まえ、本会の今後の運営方針をめぐって議論を尽くすように努めました。我々が示した本会の設立経過、設立趣意書、会則案、役員案についていくつかの討議が行なわれました。

今回はこれまで東京周辺の有志による世話人会が継続して開かれ、1995年の12月にこれまでの経過報告を行なうとともに第1回大会の開催に向けて1996年2月実行委員会を組織し、大会プログラム等の検討を進めてきました。既に全国に20余のデイケア従事者の協議会がつくられており、また老人デイケア研究会や日本精神障害者リハビリテーション学会も設立されていることもあり、1年前とはかなり状況が変化し、全国レベルの組織をつくることについての反対意見は殆どみられませんでした。当日総会に参加した方々は十分にご理解いただけたと思いますが、以上のように総会においては日本デイケア研究会として正式に発足することが承認されました。総会議事が終わってから、実践交流、シンポジウムが開催され、我が国における今後のデイケア展開の重要な一里塚となる実り豊かな経験交流と真摯な討論が展開されました。

終わりに、この日本デイケア研究会は、専門的研究と共に、既存の関連学会、研究会と連携を図り、また各地の連絡会、協議会組織とネットワークを組ながら、正確で有用な情報を発信していくキーステーションとして発展したいと思っています。皆様方のご賛同と、本研究会への参加をお待ちしています。

（日本デイケア研究会副会長・事務局長）

岩下 寛

## 福岡県の現況から

大丸 幸

福岡県では、全国に先駆けて昭和56年末に福岡県デイ・ケア研究協議会が発足しているように、精神科デイケアの取り組みは首都圏と並んで先駆的役割を担ってきたといえます。県内のデイケア関係者が集まって年4回開催する本協議会の中心的課題は、主に分裂病圏内の疾患を対象にしたデイケアシステムやプログラムの理念および集団活動や家族教育プログラムの進め方など、多岐に渡る技術論が展開されてきました。また、医療機関付設のデイケアと公的デイケアの有機的機能関係や、地域に開かれたデイケア活動であるための諸条件について、それぞれの立場から地域サポートシステムの実践報告が議論されています。

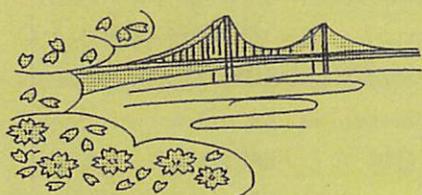
さて、日本デイケア研究会の発足に対しては、このような状況下の福岡県では必ずしも研究会発足の情報伝達が浸透されてはならず、全国レベルのデイケア情報に対する関心の高まりは低いと言えましょう。各種の学会や研究会で情報収集がカバーされていることもありますが、全国レベルでデイケアを議論する必然性を再検討する時期にきているためでもあります。

この点について、日本デイケア研究会では、分裂病圏内の疾患を越えて、老人性痴呆疾患に対する精神科デイケアの機能や役割について積極的に取り組む視点があることを示しています。福祉の時代であるという理由以上に、この視点を歓迎しているのは、一幹事である筆者ばかりではありません。

その理由として、精神科デイケアを必要とする老人性痴呆患者が増えていること、在宅福祉サービス制度の利用を検討できること、痴呆疾患に対する精神医学的接近が貢献（精神科デイケアの知見）できることなどが挙げられます。何より、老人性痴呆疾患に関係する医療および福祉サービスの関係者が多いことも大きな理由です。

そういう訳で、第2回大会が、老人性痴呆疾患をもテーマにすることで、福岡県近隣の精神科デイケア関係者に「日本デイケア研究会」の旗揚げを広報しやすくなったと多に喜んでる次第です。

(幹事/福岡・小倉南保健福祉センター、OT)



東京デイケア連絡会は、昭和61年首都圏で精神科デイケアを実施していた複数の病院スタッフの呼び掛けにより、施設相互の実践交流と情報交換、研究学習の場として発足し、以後今日まで合計46回を数える例会の開催を中心とした活動を行なってきました。発足当初は参加施設15~20施設、出席者数30~40名程で推移していましたが、最近では参加施設数40~50施設、出席者数も多い時には100名余を数えるようになりました。当連絡会は、当初から会員制は採っておらず、会の運営は、発足当初より一貫して、各施設で実際にデイケア運営にかかわる十数名の現場スタッフが手弁当で集まる世話人会（平成5年度より運営委員会）によって支えられています。

毎回の例会は、土曜日の午後開催され、参加費（500円）を支払えば誰でも出席可能で、会場も首都圏のデイケア実施施設の持ち回りとし、概ね施設見学と実践報告をもとに、その時々の精神科デイケアの現状と課題について討議を積み重ねて来ました。また、それら例会活動を通じて抽出されてきた重要な課題については、昭和63年と平成2年の二度にわたって「デイケアセミナー」を開催し、前者では「デイケアの課題と展望」後者においては「デイケアにおける効果と評価」を基本テーマとして、相互討論を更に深める場を設定し、全国からそれぞれ123名、266名という多数の参加者を得て、活発な論議を展開することができました。

以上、約十年余に及ぶ当連絡会の活動内容を簡単に紹介しましたが、私が個人的に最も印象深く感じている点は、例会の出席者が、近年のデイケアの量的拡充を反映して徐々に増加している一方で、個々の出席者の顔ぶれは概ね3年前後ではば一新してしまうという印象があることです。このことは、現場の（特に病院デイケアの）スタッフにとっては、デイケアとは勤務ローテーションによって一定期間配属される場であるにすぎないという、極めて現実的な制約を受けざるを得ない状況を反映しています。

その意味において、今回設立された日本デイケア研究会が、デイケアについてのより専門的な研究、討論を積み重ね、上記の現実的制約を乗り越えて、現場の一スタッフが、例えデイケアから異動になっても、その多くが継続して参加することが出来るような求心力を持った会として発展することが要請されるのではないかと考えます。また、この度の調査で、全国に20以上の精神科デイケア関連連絡会等があることがわかりましたが、日本デイケア研究会が中心となって、それらの連絡会等の全国レベルでの交流が深まることを、切に期待したいと思います。

尚、東京デイケア連絡会の報告集をご希望の方は、事務局（長谷川病院 ☎0422-31-8600）までご連絡下さい。

(幹事/東京・桜ヶ丘記念病院、医師)

# 日本デイケア研究会第2回大会

## 21世紀のデイケアをめざして

- ◇精神科デイケアのプログラムをめぐって
- ◇老人デイケア・デイサービスの課題と展望

会 期：平成9年9月6日(土)・7日(日)

研究集会：平成9年9月6日(土) 9:30~17:00

特別講演：聖マリアンナ医科大学・学長 長谷川 和夫教授

研 修 会：平成9年9月7日(日) 9:00~16:00

会 場：千葉・幕張メッセ国際会議場

大会長：斎藤 和子(千葉大学看護学部教授)

### 趣 意 書

日本デイケア研究会も、第2回大会を上記のように開催する運びとなりました。

人間にとって、老化およびそれに伴う心身機能の障害は避けられません。しかし、障害があっても自律的に、日常の活動性を維持し、社会の一員としての生活を継続していくことは我々の願いであります。老人デイケアおよびデイサービスはこのような願いに応えるために開始され、普及してきました。痴呆性老人についても利用が奨励され、そのための整備も進んできました。実際、新しい開設は年々増加してきております。ここにおいて、事業内容の充実、専門従事者の技術水準の確保が強く望まれることになりました。

精神科デイケアに関してはすでに歴史も長く、相当数普及しております。精神障害に対する一般社会の認識にも変化が見られ、社会復帰促進事業にも理解が得られるようになりました。障害者の中には社会の一員としての自己認識を持ち、社会生活維持あるいは復帰のために積極的にデイケアを利用し、事業内容の充実に期待する者もあります。

このように老人デイケア・デイサービスおよび精神科デイケアは、障害を持ちながら家庭生活および地域社会での生活を続ける人々を支援する施設として、その根本的な理念および基本的技術は共通するものがあり、ここに一堂に会して情報の交流、技術の交流および研鑽を図ることは相互に有益であると考えられます。

デイケア、デイサービス、作業所等に直接係わる方々はもちろん、広く医療、保健、看護、福祉、介護、教育等に携わる専門職者、研究者等、多くの方々のご参加を得て、有意義な大会に致したいと存じます。皆様のご参加とご支援を期待致します。

また今回は第2日目に研修会を開催します。多くの方々のご参加を期待しております。

### □演題募集のお知らせ□

今回は一般に演題を募集します。デイケア、デイサービスおよびこれらに関連する領域からのご発表を広く募集いたします。

応募要領：官製はがきに左記枠内事項記載のうえ、下記大会事務局までお送り下さい。

締め切り：平成9年5月31日

採否、発表時間等は事務局で決定後お知らせ致します。

事務局：〒260 千葉市中央区亥ノ島1-8-1

千葉大学看護学部精神看護学教育研究分野内

日本デイケア研究会第2回大会事務局

TEL：043-226-2430, 2432

FAX：043-226-2433

### 日本デイケア研究会第2回大会演題発表希望

1. 演 題：
2. 演者氏名：
3. 所 属：
4. 連絡先住所：  
TEL：  
FAX：
5. 発表方法：いづれか選択してください。

イ. □演

ロ. □ポスター発表

# 日本デイケア研究会 役員

1996年9月7日、日本デイケア研究会第1回大会  
総会議事（於：東京医科大学病院臨床講堂）にて承認

- 会長：加藤 正明（東京・医師）  
副会長：小林 暉佳（東京・医師）：事務局長  
斎藤 和子（千葉・看護）：第2回大会長  
幹事：窪田 彰（東京・医師）：広報委員長  
弘末 明良（茨城・医師）：渉外委員長  
松永 宏子（千葉・PSW）：研修委員長  
宮内 勝（東京・医師）：編集委員長  
池田 良一（東京・医師）：事務局次長  
浅野 弘毅（宮城・医師） 井上 恵子（東京・医師）  
岩下 寛（東京・医師） 榎本 稔（東京・医師）  
大丸 幸（福岡・OT） 大森文太郎（岡山・医師）  
岡部 紘一（東京・心理） 荻澤 健志（東京・心理）  
越智浩二郎（千葉・心理） 佐々木千鶴子（東京・PSW）  
高林 健示（東京・心理） 内藤 清（神奈川・OT）  
古屋 龍太（東京・PSW） 堀田 直樹（東京・医師）  
松田ひろし（新潟・医師） 良田 麗明（神奈川・医師）
- 監事：柏木 昭（千葉・PSW） 佐々木勇之進（福岡・医師）  
評議員：浅井 邦彦（千葉・医師） 伊藤勝三（北海道・医師）  
伊藤 祐臺（東京・医師） 内田洋一（茨城・OT）  
菊池 頌子（東京・保健婦） 熊倉徹雄（福島・医師）  
栗原 活雄（東京・PSW） 小杉 好弘（大阪・医師）  
小峰 和茂（東京・医師） 小谷野 博（東京・心理）  
式場 聡（千葉・医師） 清水 宗夫（東京・医師）  
菅野 圭樹（福島・医師） 高江洲義英（沖縄・医師）  
武田 専（神奈川・医師） 田中 英樹（神奈川・相談員）  
富岡 詔子（長野・OT） 平田 豊明（千葉・医師）  
藤井 康男（山梨・医師） 穂積 登（東京・医師）  
堀内久美子（東京・OT） 松田 孝治（大阪・医師）  
矢野 徹（千葉・医師）



## 日本デイケア研究会・入会のご案内

### 1、入会申込書

正会員用と団体会員用の2種類の申込書がありますので、お書き込みのうえ事務局までお送り下さい。  
なお申込用紙、振込用紙、会則などと共に入会案内を送付いたしますので、ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

### 2、入会金および年会費

送付先：郵便振替口座をお願い致します。

口座番号：00170-8-167337 名称：日本デイケア研究会

会費： A、正会員： 入会金1,000円+年会費8,000円=9,000円

B、団体会員： 従事者3名までは、入会金5,000円+年会費20,000円=25,000円

3名を越えるときは、1名につき年会費5,000円を加算し計算して下さい。

(例：従事者5名のときは、入会金5,000円+年会費30,000円=35,000円です)

### 3、資格

正会員、団体会員の入会資格については、会則第4条の一部を下記しますのでご参照下さい。

第4条 1、正会員は、医療、保健、福祉、教育等の分野において、デイケアおよび関連業務に従事または従事しようとする個人で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとする。

2、団体会員は、デイケア業務をおこなう団体、施設、法人等で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとし、一定数のデイケア従事者を登録することができる。

### 4、送付先・問い合わせ先（事務局所在地）

〒206 東京都多摩市中沢2-1-3 東京都立多摩総合精神保健福祉センター内

日本デイケア研究会事務局 小林暉佳 宛

電話番号：0423-76-1111 FAX番号：0423-76-6885

(申し訳ありませんが不在の時も多いため、なるべく封書かFAXにてご連絡下さい)